

株式会社ノア
東京都新宿区早稲田町 70 番地 8
2014 年 8 月吉日

Sonus faber
ソナス・ファベール社

特別限定モデル発売のご案内

お客様各位

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、篤く御礼申し上げます。

設立以来、イタリアンデザインの極致とも言うべき技巧をこらした数々の銘スピーカーを誕生させてきたソナス・ファベール社。1991年には自ら「**Extrema**（極限）」と名づけたスピーカーを発表しました。これはそれまでの限界を超えた挑戦であり、新たなリファレンスを創造する野心的な試みで大きな反響を呼んだものでした。

そこでこの度ソナス・ファベール社創立 30 周年を記念して、新たな歴史を担う二人のデザイナーにより特別なプロジェクトが完成しました。その名も“**Extrema 30th Anniversary Super Limited Edition**”。

「かつての極限」を超える、新たな探求と革新がもたらした“新世代エクストリーマ(超極限)”は、30 ペア限定生産。全世界で 30 名様だけに届けられる貴重なモデルです。

つきましては別紙資料をご高覧賜り、ご試聴、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

■ブランド名	Sonus faber (ソナス・ファベール/イタリア)
■製品名	“Extrema” 30th Anniversary Super Limited Edition 「エクストリーマ」 30周年記念特別限定モデル (30ペア限定生産)
■価格	希望小売価格 8,000,000円(税別・ペア)
■発売日	2014年(平成26年) 8月11日

Sonus faber®

Extrema

30th Anniversary Super Limited Edition



ソナス・ファベール誕生 30 周年を記念する 新世代エクストリーマ限定モデル

今を去ること 23 年前の 1991 年、ソナス・ファベールは、自ら「極限」と名づけたスピーカーを発表します。エレクタ・アマトル、ミニマという、スピーカーの歴史を大きく塗り替える逸品を世に送っていたソナス・ファベールにとって、木と革の持つ力を最大限に引き出すその独自のスピーカー・デザインをさらに一つ上の次元に引き上げ、新たなリファレンスを創造する野心的な試み、すなわちそれまでの限界を超えようとする挑戦が、この「極限」のスピーカー、エクストリーマでした。

そしてソナス・ファベール創立 30 周年にあたる今年、その新たな歴史を担う二人のデザイナー、パオロ・テツォンとリヴィオ・ククツァは、この名機にあらためて光を当て、解像度と繊細さ、サウンドステージの豊かさの「極限」を目指す、特別なプロジェクトを完成させました。

**新世代エクストリーマとも呼ぶべきこのモデルは、30 ペア限定生産。
全世界で 30 名様しか味わっていただけない貴重なモデルです。**

「極限」を追求した 1991 年のエクストリーマ



1991 年発売のエクストリーマ

1991 年のエクストリーマが掲げたテーマはダイナミクスの極大化と歪みの極小化。比較的コンパクトなサイズにおいて、スピーカーがどこまでスケール感豊かに、朗々と歌えるのか。どこまで音楽性豊かになれるのか。エクストリーマは、そのテーマを極限まで追求したプロジェクトだったのです。その威風堂々とした風貌と期待にたがわぬ豊穡な響きに、当時のリスナーは間違いなくソナス・ファベールの新たな力量を確信しました。

新規設計ドライバー・ユニットによる 2 ウェイ構成をもとに、パッシブ・ラジエーターによって低域の力感を拡充する大胆なコンセプト。革新的な「6dB オクターブ SINE CAP 1 次フィルター」によるクロスオーバー設計。7 枚の木材をウォールナット無垢材で挟み込み、共振を分散吸収しながらもその響きを巧みに活かすキャビネット・デザイン。そのすべてが、当時のソナス・ファベールの力を超えて新たな音の世界を生み出そうとする、力強い意志と、それを形にすることができる技を体現していました。

ソナス・ファベールが自らを超えるためのモデル。それが 1991 年のエクストリーマだったとすれば、ソナス・ファベールの新たな未来を見据えるパオロ・テツツォンとリヴィオ・ククツァが、ソナス・ファベール史 30 年を記念するモデルとしてエクストリーマを選んだのは、いわば必然でした。

「かつての極限」を超える、新たな探求



今日のソナス・ファベールは、木と革の特質を追求する伝統を礎に、金属をはじめ様々なマテリアルの特性についての研究成果を蓄積し、それらを臆することなく柔軟にとりいれることでスピーカーの新たな地平を拓く、きわめてイノベティブなスピーカー・メーカーへと成長を遂げました。

オマーージュ・シリーズの進化。the Sonus faber やアイーダに始まり、オリンピカに至るまで脈々と受け継がれてきた革新。それは、木と革にとどまることなく、素材の力を最大限に引き出し、融合するという新たなソナス・ファベールの姿勢がもたらした、次元上の境地と言えるかもしれません。

そして、新たなソナス・ファベールがスピーカー・デザインにおけるさらなる高みを目指すために、あらためて着目したのが、エクストリーマという23年前の「極限」でした。技術の限界を極めるその大胆な発想に、今日のソナス・ファベールは、歴史を超えていこうとする力強い意志を再発見したのです。あらゆる面で野心的なエクストリーマという傑作は、スピーカーの新しい姿を模索するソナス・ファベールにとって、まさしくインスピレーションの宝庫でした。

かくて、新たなソナス・ファベールの感性と技術によって定義し直されたエクストリーマが誕生しました。それは過去の傑作の再現ではなく、それにインスパイアされた全く新しいスピーカーの形。大きく拓かれたスピーカーの地平は、今再び、さらに広がろうとしています。

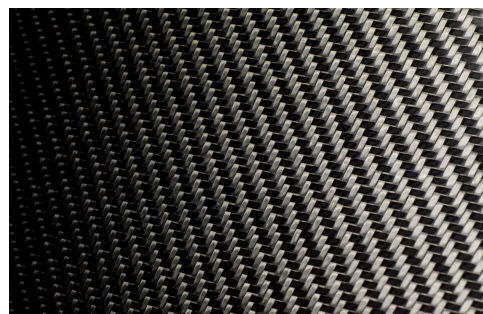
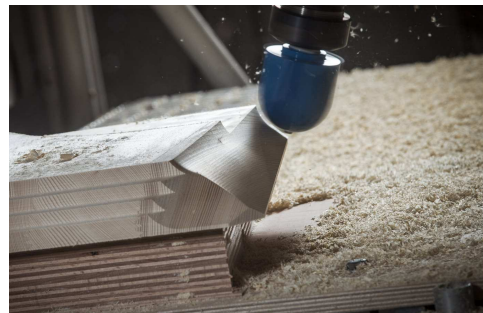
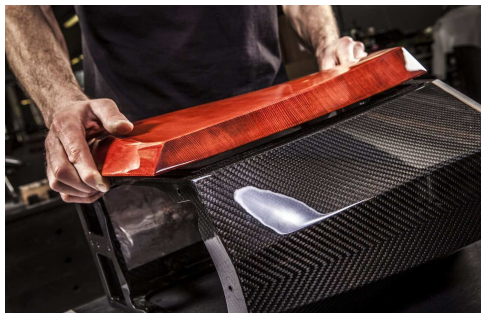
システム概要

カーボンファイバー・モノコック構造のメイン・シャーシ



Sonus faber®

- 新世代エクストリーマ特別限定モデルは、ツイーターとミッド・ウーファーによる2ウェイ2スピーカーにパッシブ・ラジエーターを加えたユニークな型式。1991年のエクストリーマと同様の構成ながら、明らかに23年間の進化を体現しています。
- スピーカーの骨組みであるメインシャーシは、スーパーカーのコクピットに着想を得て、カーボンファイバーを含む6種類の素材により成型されたカーボンファイバー・サンドウィッチ構造モノコックとなっており、これを土台にキャビネットを構築しています。制作は、実際にF1カーのコクピットを手がけているラボに依頼されています。
- キャビネット木材にはヴァル・ディ・フィエンメ産スプルースを使用。スプルースはヴァイオリンなどの弦楽器に使われる松の一種ですが、日本での松のイメージとは異なってモミに近い種類です。軽く硬質で、音響特性に優れることから「ヴァイオリンの木」とも呼ばれます。ソナス・ファベールでは最適な音響制御を可能にするために木目の良質なスプルース材を厳選した上で、3Dによって厚み分布を調べ、最適な振動ダンピングをを施しています。
- フロントとリアの木材は、the Sonus faber で開発された「エキソ・スケルトン」の手法でクランプされ、全体の剛性を確保しています。



ソナス・ファベール設計によるドライバー・ユニット

<ツィーター>

- 30mm 口径、超ダイナミック・リニアリティーを誇る「ダイヤモンド・ライク・カーボン (D.L.C.= Diamond Like Carbon) ベリリウム・ドーム・ダイアフラムを採用。ベリリウム製ドームの表面にダイヤモンド・パウダーを塗布する最新技術により、透明感に溢れ、解像度に優れた美しい高域を実現します。
- その至高の分解能を支えるのは、ソナス・ファベール社設計による 30mm 口径のネオジミウム・ムービングコイル駆動回路です。
- ソナス・ファベール独自のメカニカル・アンチ・レゾネーターを装備しています。
- リア・チェンバーは、CNC 加工により最適化されたアルミ系素材「エルガル」製の音響迷路となっています。



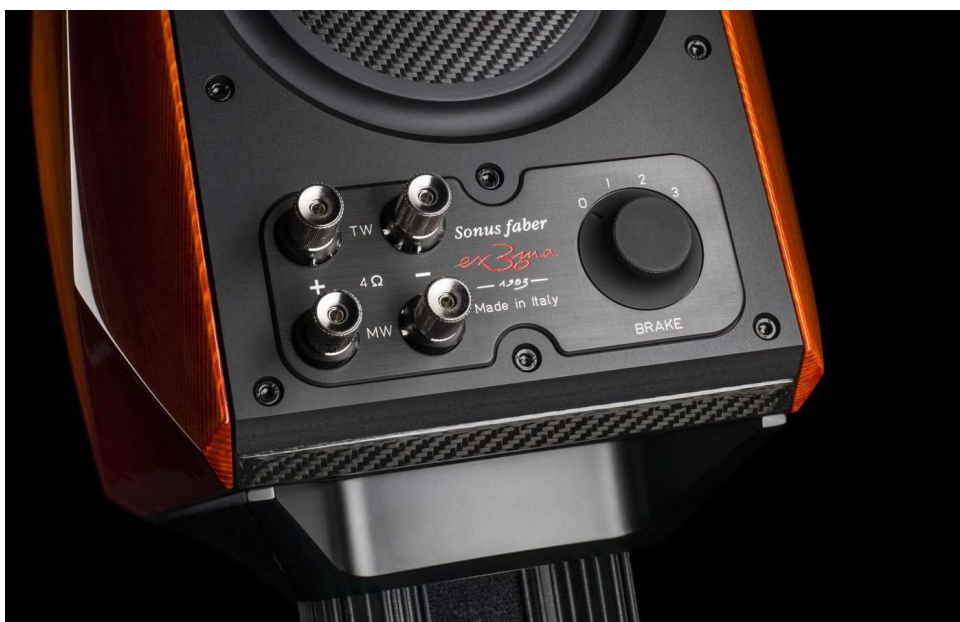
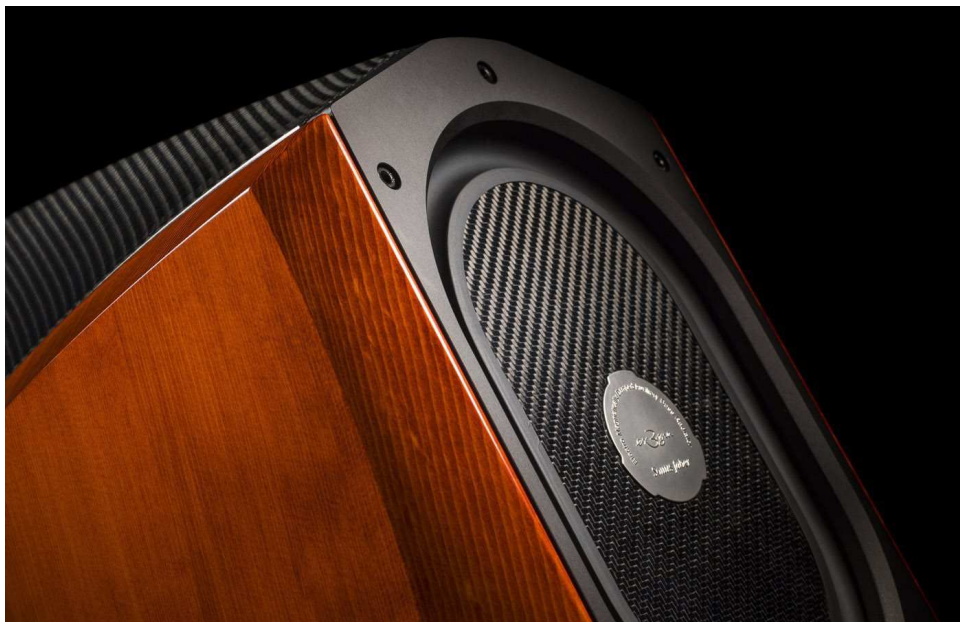
<ミッド・ウーファー>

- 特殊シンタクティック・ダンピング発泡材コアをナノカーボン材で挟み込むサンドウィッチ構造のカスタム設計ダイアフラム。コア材をD.L.C.ベリリウム・ドーム・ダイアフラムを反転させたコーンとすることで透明性を獲得しています。
- ソナス・ファベール設計の180mm口径ネオジウム磁気回路は、渦電流を最適制御したフォーマーに6N純銅線材を使用、マス・ダンパー式ヒート・シンクをそなえています。
- 「エルガル」と砲金を無垢材からCNC加工したバスケットは、異種金属のコンビネーションにより相互の共振を相殺。ツイーター同様、メインのバッフル板からデカップリングされ、アコースティック・チェンバーとの連携によるシナジー効果を発揮。



<パッシブ・ラジエーター>

- ソナス・ファベール設計による、楕円形の「E. M. B. A. B. R.」(Electro Magnetic Brake Auxiliary Bass Radiator = 電磁ブレーキ式低域補助ラジエーター)により低域をダイナミックに補完します。
- 均一なピストン・モーションを実現するよう専用に設計されたフラットなダイアフラムは、ミッド・ウーファースのサンドウィッチ・コーン構造と、“モノコック” サンドウィッチ構造の中間とすることができます。
- バスケットは、“エルガル” と砲金を無垢材から CNC 加工。異種金属のコンビネーションにより相互の共振を相殺。
- ダンピング量は、ノブにより 4 段階で調整可能。リスニング・ルームの特性に合わせて最適のレスポンスを得ることができます。専用スタンドもまた、その重量で外来振動を抑制、本体の延長として機能します。



“ソナス・ファベール”の音の鍵を握るクロスオーバー

- 無共振“プログレッシブ・スローブ”設計。
- 振幅/位相特性の最適化により、正確な空間/時間パフォーマンスを実現。
- ツイーターのハイパス、ミッド・ウーファーのローパス双方に、「オリンピカ」でも採用された“パラクロス・テクノロジー”を適用。
- クロスオーバー周波数2,350Hz。



その他の仕様



- 周波数特性：
40Hz～40kHz (E. M. B. A. B. R. 含む)
- 音圧レベル：88dB SPL (2.83V/m)
- 公称インピーダンス：4Ω
- 推奨アンプ出力：50W～300W
(クリッピングなし)
- 寸法：幅282×高さ434×奥行き560mm
- 重量：18.6kg

- 専用スタンド寸法・重量：
幅360×高さ661×奥行き460mm、22kg
- スタンド込み寸法・重量：
幅360×高さ1,095×奥行き560mm、40.6kg

- 希望小売価格：8,000,000円(税別・ペア)